

文化庁令和6年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業

駅弁シンポジウム～日本・台湾の駅弁文化～ 開催について

広島駅弁当株式会社

★2025年2月5日★

広島駅弁当株式会社（本社：広島県広島市東区矢賀 5-1-2、代表取締役社長：中島 和雄）は、文化庁「令和6年度『食文化ストーリー』創出・発信モデル事業」に採択された「駅弁」に関する調査研究事業の一環として、鉄道博物館において「駅弁シンポジウム～日本・台湾の駅弁文化～」を開催いたします。

シンポジウムでは、日本と台湾の駅弁文化をテーマに、日台の学識者による基調講演や駅弁事業者を招いてのパネルディスカッションを通じて、日台の駅弁が担ってきた食文化についての考察を深め、駅弁の魅力や今後の展望について議論します。

■テーマ

日本・台湾の駅弁文化について

■登壇者

湧口清隆氏（相模女子大学 社会マネジメント学科教授）
曾令毅氏（台湾國家鐵道博物館籌備處研究典藏組副研究員兼組長）
小林文紀氏（福豆屋専務取締役：日本鐵道構内營業中央会副会長）
鄭安君氏（千葉大学社会科学研究院特任研究員）
堤一郎氏（サレジオ工業高等専門学校 客員教授）

■日時 2025年2月22日（土） 13：00～16：00

■場所 鉄道博物館 北館 てっぱくホール(埼玉県さいたま市大宮区大成町 3 丁目 47 番)

■内容

第一部：基調講演

演題：「駅弁は日本が誇る鉄道文化」

湧口清隆氏（相模女子大学 社会マネジメント学科 教授）

演題：「台湾鉄道弁当の歴史文化的考察」

曾令毅氏（台湾國家鐵道博物館籌備處 研究典藏組副研究員兼組長）

※逐次通訳あり

第二部：パネルディスカッション

テーマ：「日台の駅弁文化について」

湧口清隆氏（相模女子大学 社会マネジメント学科教授）
曾令毅氏（台湾國家鐵道博物館籌備處研究典藏組副研究員兼組長）
小林文紀氏（福豆屋専務取締役：日本鐵道構内營業中央会副会長）

【総括コメント】

鄭安君氏（千葉大学社会科学研究院特任研究員）
堤一郎氏（サレジオ工業高等専門学校 客員教授）

■主催：広島駅弁当株式会社

■後援：一般社団法人日本鐵道構内營業中央会、台北駐日經濟文化代表処 台湾文化センター、相模女子大学、西日本旅客鐵道株式会社コーポレートコミュニケーション部鐵道文化推進室、京都鐵道博物館

■協力：鉄道博物館

■その他：参加費は無料（入館料のみ必要）。

※席には限りがあります。立ち見でもご覧いただけます。

3月1日（土）には広島県内でもシンポジウムの開催を予定しています

【取材のご案内】

ご取材を希望される場合は、2月19日（水）までに別添申込書よりメールまたはFAXでお申込みください（お問合せ先）

広島駅弁当株式会社 担当者：松村・奥山

電話：082-286-4343 e-mail：matsumura@ekibento.co.jp